

No.38

令和3(2021)年8月1日発行

主な内容

特集「高校生に聞いてみよう！
～政治と選挙について～」…2～3

皆さんの声を議会へ
(一般質問)……………4～6

主な議決結果……………7

インターネット中継のお知らせ
傍聴してみませんか……………8

たきかわ 市議会 だより

「たきかわ市議会だより」をアプリで読めます！

 マチイロで検索 (iOS・Android 対応)



～あの日あの頃～

誰もが生きるエネルギーにあふれ、家族や人々との絆を感じたあの頃。便利な携帯電話などはなくても、小さな幸せの日々がそこにありました。昭和の時代をメインに、当時の活気づく人々やまちの様子、注目を集めたものなどを振り返る「あの日あの頃」を隔号で掲載します。



市民まつり (昭和50年頃撮影)



今回の特集は、18歳になってはじめて選挙権を得る滝川西高校の生徒会の皆さんに、現在の若い人は政治や選挙についてどのように考えているのかを伺うため座談会を開催しました。

——コロナにより、部活動や日常生活に影響が出ていると思いますが、家庭や学校でコロナや政治が話題になることはありますか。

- コロナ感染が続いており、学校祭がこのまま開催できるのかが気になります。日々の発症者数によって開催が左右されるので毎日話題になります。政治については難しいという印象を持っています。
- コロナに関わるニュースで政治の不利などを知って、次の政権はどなか？といった話を家族とします。
- 政治が主体になる話はしません。コロナ感染については、毎日家族と話していて、学校生活に影響が出るか話題になります。
- コロナについては、家族の間で緊急事態宣言を出した方がいいとか、よく話題になります。政治については、悪いニュースが話題になることもあります。



生徒会会長の
上村和加さん

——ワクチン接種の順番が来た時に接種する予定ですか。

- 若い世代がワクチンを打っても大丈夫と証明されればいけれど、副反応などが怖いイメージがあります。
- 喘息などがあり打ったほうがいいと周りからすすめられ、



自分自身でも打ったほうがいいと思うので、ワクチンは打つ予定です。

- ワクチンは受けたくないです。受けない人もかなりいて、家族で話した結果、受けない結論になりました。
- 高齢者など重篤化しやすい人から順番に打って行って、自分たちの順番がきたら打ちたいと思います。打たないことで感染が拡大してしまうことが問題だと思います。



副会長の
佐藤桃花さん

——選挙における若い世代の人たちの投票率の低さが問題となっていますが、政治に関心を持ってもらうためにはどうしたらいいと思いますか。

- 政治のニュースを見ていると、言葉などが難しく理解しにくいことが多いです。若者向けにわかりやすく、例えとかを使ってもらえるようにしてもらいたいです。
- 若い人に損得が発生する公約の内容がわかると参加しやすいと思います。
- 早生まれなので在学中は選挙権はありませんが（今年の秋の衆議院議員選挙）、選挙権が付与されることで政治に興味を持つきっかけになるし、一歩大人に近づいたことになると思います。



文化委員長の
佐藤悠菜さん





——知事選挙、北海道議会議員選挙、市長選挙、市議会議員選挙が地方政治の身近な選挙ですが、選挙に行ってみたくありませんか。

●選挙に行ってみたくと思うけど、一票の重みがあるのに誰に投票したらよいかかわからないまま行っていいのか、悩ましく思います。



体育委員長の
沖野凜さん

●選挙に行きたいです。大切な一票だからこそ投票することで若者の意見も取り入れられるからです。若者だから行かないは言い訳で、いつまでも興味を持たれないので行った方がいいと思います。

●参加したいです。投票によって若い人の意見が少しでも反映されるように、自分の意見も伝えていきたいです。

●参加しない方だと思います。まだ関心がないので、知らないまま行くより、勉強してから行った方が日本のためになると思うからです。

——若い世代の投票率が低いのは何が原因だと思いますか。どうしたらもっと若い人たちが選挙に行こうと思いますか。生徒会の取り組みでも、課題、悩みなどにどのように対処しているのか教えてください。

●生徒会は絶対参加なのと生徒のためのものなので、意欲的に参加してくれます。私たちの世代にもプラスになることがあれば参加したいです。時代はテレビからSNSになり、SNSなどでの選挙の仕組みができれば変わると思います。



広報委員長の
熊谷拓馬さん

●若者の投票率が低いのは、現状に満足しているから。若者にとって不利なことがあれば、投票率が上がると思います。生徒会も、何でもできるものではなく諦めなければならないこともあり、みんながプラスになることがあるように仲間と協力して取り組んでいます。

●興味を持ってもらうことは大切だと思うし、選挙ポスターも若者向けと高齢者向けと分けて作ってもいいと思います。SNSの発信もいいと思います。

——滝川市議会議員は、男性14名、女性2名で、女性の政治参加率もまだまだ低いです。市議会議員について、どのようなイメージをもっていますか。将来、市議会議員に立候補してみたいと思いますか。

●市議会議員の活動は知る機会もなく、市長は気づいたらなっている感じで、全く知らない世界です。政治の世界は難しすぎると感じます。

●街を良くしてくれる、市民から選ばれたイメージです。難しいと思うので、出たいとは思いません。

●活動はほとんど知らないけど、尊敬できる方たちというイメージです。人の前に立つことは嫌いではないのですが、出たいと思ったことはないです。



会計主任の
浅沼紀瑛子さん



みんなで
選挙に
行こう！



座談会を終えて

高校生の皆さんに率直なご意見をいただき、たいへん貴重な機会となりました。

次代を担う高校生が日頃考えていることを私たちも敏感に捉え、想像力を磨き、議員活動に生かしてまいります。

皆さんのこれからの学校生活が希望に満ちていることを祈念しております。

滝川西高校生徒会の皆さん、お忙しいところ、たくさんのご意見をいただき、ありがとうございました。

皆さんの声を議会へ



当市議会では、6月・9月・12月の各定例会において市政全般にわたって事業の執行状況や将来に対する方針などについて質問し、執行機関から報告・説明などを求める一般質問が行われています。一般質問は、住民から重大な関心と期待を持たれていることについて問いかけ、議員自らが提言を行い、政治姿勢を示すことができる大事な議員活動の場です。

本会議場での議員一人当たりの質問時間は30分以内となっています。今議会では2日間にわたり行われ、12名の議員が質問しました。ここではその一部をお知らせいたします。

質問者	質問項目
荒木 文一 (会派清新)	プラスチック資源循環促進法について コロナワクチン接種について 道の駅たきかわの経営状況について
安楽 良幸 (新政会)	緊急事態宣言発出により影響を受ける事業者への経済支援策について 生活困窮者等への支援について 國學院大學北海道短期大学の学生に対する支援について
三上 裕久 (公明党)	子育て支援について コロナ禍における事業者に対する支援について 市発注の工事について
木下八重子 (会派みどり)	滝川市住宅建設・改修促進事業について コロナ禍における飲食店への支援について
佐々木和代 (新政会)	生理の貧困について 産後ケア事業について 学童クラブについて
山口 清悦 (会派みどり)	コロナワクチンの接種について 文化センター大ホールの閉鎖について
渡邊 龍之 (会派みどり)	滝川市総合計画について 第2期財政健全化計画について コロナワクチンの接種について
東元 勝己 (会派清新)	滝川市ワーケーション推進モデル事業について トランスジェンダーに対する具体策について
堀 重雄 (公明党)	ワクチン接種について コロナによる企業等への影響などについて コロナ禍における支援について 行政手続におけるオンライン化による押印廃止と書面の見直しについて
寄谷 猛男 (共産党)	市民に信頼される市政運営について 効率的な市政運営について 性的少数者も住みやすいまちづくりについて アイヌ民族の歴史、文化、生活を伝えていく取組みについて 江部乙中学校の跡地の利活用について
水口 典一 (会派清新)	北海道公表の「道内のコロナ感染者の発生状況」について 住宅建設・改修促進事業について
田村 勇 (新政会)	新型コロナウイルスの変異型ウイルスについて ふるさと納税について 防犯カメラの設置について 滝川市立病院における診療について スキー学習について いじめ等について 市民の文化活動の支援について

第2回定例会 一般質問から

今後のワクチン接種体制について



荒木 文一（会派清新）



問 64歳以下の接種が迫っている中で、供給目途や基礎疾患の有無による優先度について伺う。

答 供給目途については、道への入荷予定数が減少予定と示されましたが必要十分な供給を求めています。基礎疾患を有する方には先行予約期間を設けるなどの対策を行うよう国から求められており、現在検討しています。

問 プラスチック資源循環促進法の施行に向けて、本市の資源回収で変化はあるのか伺う。

答 一括回収に取り組む自治体に対し国は費用負担の特別交付税^(※)を措置する優遇措置を設ける等、循環型社会の構築を加速しています。本市としては関係一部事務組合やその構成市町の意向を確認しつつ検討を進めていきますが、すぐに変わることはありません。

コロナ感染症対策について



安楽 良幸（新政会）



問 今回の緊急事態宣言の影響により売上が減少した事業者（飲食、酒類販売、納入、宿泊など）への支援策について伺う。

答 本市としては、道の緊急事態措置協力支援金や国の月次支援金などの施策を活用していただくよう関係団体等への周知に努めています。この際、2つの支援策に該当しない事業者には、北海道が新設した月の売上減少率が30%~50%未満が対象となる道の一時金支給制度等の活用を周知するなどして丁寧に対応していきます。

問 アルバイト先が減少し、生活に困窮する國學院大學短期大学部学生への支援について伺う。

答 学生への支援は、本市、家主連絡協議会、同短大部協力会及び短大部学生会の4者で連携して米やレトルトなどの食料品を配付します。

コロナ禍における市民への支援策について



三上 裕久（公明党）



問 滝川市では、国の定額給付金の対象とならなかった令和2年4月28日以降に生まれた新生児世帯へ一律10万円を給付したが、令和3年4月1日をもって終了している。さらなる延長をすべきと考えるが見解を伺う。

答 引き続き実施することは、考えておりません。

問 国の月次支援金と道の緊急事態措置支援金の併用の可否と事業者に向けた制度の周知について伺う。

答 国の月次支援金は、道の支援金の対象となる事業者を対象外としているため併用はできません。これらの制度については、引き続き関係団体等と連携を図りながらより一層の周知に取り組んでまいります。



滝川市住宅建設・改修促進事業について



木下八重子（会派みどり）



問 国の補正予算や他のコロナ対策事業の不用額が出た場合には、それらを充てることで予算上限額に達した住宅改修促進補助を継続実施する考えはないか伺う。

答 予算上限額に到達したことで当初の目的を達成したと考えますので、新たな国の補正予算や不用額が発生したとしても、実施することは難しいと考えます。また、この先のコロナの状況によっては新たな対策や支援策等の必要が生じる可能性もあり総合的な判断をしていく必要があります。



生理の貧困について



佐々木和代（新政会）



問 生理の貧困について、本市における実施状況と今後の方針を伺う。

答 市内教育機関に確認したところ現在そうした相談はなく、また近隣自治体においてもお困りの声は確認できていませんが、この問題は声に出しづらいことが特徴の1つと認識し今後もニーズの把握に努めてまいります。

問 定員超えが続く東地区学童クラブは、コロナ禍での密による影響が心配される。本市としての対策を伺う。

答 既存施設の活用を含めたクラブの分散化について保護者の方にご意見を伺いましたが、通学路の安全管理面やグループ分けなどの課題があり、東地区での利用を希望されたため分散化はできませんでした。今後も関係部局と連携し課題解決に向けて取り組んでいきます。

コロナワクチンの接種について



山口 清悦（会派みどり）



問 高齢者の予約結果を受けて、64歳以下の市民に対する予約及び接種の方法はどのようにするのか伺う。

答 接種券の発送は、優先接種を考慮しながら、区分けを行う必要があると考えます。電話予約は引き続き行いますが、インターネット予約の増加に備え、サーバー能力を増強しました。個別接種については引き続き医師会と相談していきます。

問 文化センター大ホールの閉鎖中における音楽・演劇等の文化活動に対する代替施設について伺う。

答 当面は、市内の民間施設や周辺市町の施設をご利用いただきたいと考えます。現在、利用いただいている団体などに意見をお聞きしながら対策を検討しており、可能な限り、早期にご提示できるよう進めていきます。

※「特別交付税」は8ページの「用語を理解して議会をもっと身近に！」を参照

第2回定例会 一般質問から

新滝川市総合計画の策定について



渡邊 龍之（会派みどり）



問 新滝川市総合計画策定延期の具体的要因について伺う。

答 コロナ禍におけるアフターコロナの視点、人口減少下によりコンパクトなまちづくりへとシフトしていく上で喫緊の課題となっている公共施設の再編、土地利用のあり方といった同計画策定上の重要な要素を取り入れた中で、将来像を描いていくことが必要と判断し、令和5年度からのスタートに向け準備をしているところです。

問 市立病院の収支不足の改善について伺う。

答 国が講じた特別減収対策企業債や新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金などの救済措置により現在では現金不足を3億1千万円まで圧縮しています。引き続き市立病院と市が一丸となって収支改善に取り組んでいきます。

ワーケーションモデル事業について



東元 勝己（会派清新）



問 ワーケーションモデル事業に対する本市の今後の方向性を伺う。

答 コロナの感染拡大に伴い、都市部の企業では仕事をしながら休暇を楽しむ「ワーケーション」を推進する動きがあります。全国的にワーケーション誘致の取り組みが進められるなかで、他市に比べて本市の事業が優位性を見いだせるかをこのモデル事業で検証を行うこととしています。

問 トランスジェンダーに対する本市の具体策を伺う。

答 トランスジェンダーへの配慮から各種書類から性別欄を削除する事例が増えていることは承知しています。本市ではこれまでLGBT対応を目的とした性別欄の削除は行っていませんが、今後、他市町村を参考にしながら、書類の性別記入について、どうあるべきか検討していきます。

コロナによる市税への影響について



堀 重雄（公明党）



問 コロナによる市税への影響について伺う。

答 コロナの影響により減額等を行ったのは、令和2年度国民健康保険税が56件、11,498千円、主な内訳として飲食業、その他サービス業、販売・小売業です。また令和3年度固定資産税・都市計画税では159件、69,545千円、主に建設業等、小売業、飲食業です。

問 行政手続におけるオンライン化による押印廃止と書面の見直しについて伺う。

答 押印等が必要な法令準拠の書類約1800のうち約200の改正を終えたところであり、今後は市独自事務についての見直しを行います。オンライン化による手続きについては、既存電子申請の利用周知のほかマイナポータルを活用した効率的な事務の検討を進めていきます。

職員の法令遵守・倫理保持について



寄谷 猛男（共産党）



問 旭川医大とのアドバイザー契約は職員を指導、助言し模範を示す立場にある管理監督者が必要と判断し決裁してきた。職員がその判断を模範としても法令遵守・倫理保持は図れるのか。

答 公務員倫理にもとる行為は自律的に適切に組織自身が正すことが望ましく、職員の公務員としての自覚や風通しの良い職場環境の構築に今後も努めます。

問 性的少数者の住みやすいまちづくりの取り組みを伺う。

答 当事者の抱える生きづらさを多くの市民の方に知ってもらい理解を広めることが重要です。LGBT団体と情報交換をしながら当事者の気持ちや意向に沿った生きづらさの解消の方策について検討していきたいと考えます。

コロナの感染対策について



水口 典一（会派清新）



問 北海道発表の発生状況における発表内容の変更について伺う。

答 北海道の見直し内容によると、一週間ごと市町村別の公表が行われます。身近な地域の感染状況を知ることにより、市民一人ひとりが自ら感染予防等に適切な行動をとることができるようになり、差別、偏見、誹謗中傷が生じないよう配慮がなされた結果と受け止めています。

問 住宅改修事業の継続に向けた考えについて伺う。

答 今回の改修促進事業については、緊急のコロナ対策として、地方創生臨時交付金を活用した中で、建設需要喚起、関連業界の発展に重点をおいて実施したところです。事業の継続については、財政健全化期間中であることから、今後の財政状況を慎重に見極めた上で検討していきます。

市民の文化活動の支援について



田村 勇（新政会）



問 文化センターを廃止し、身の丈に合った新たな文化施設を旧総合福祉センター跡地と平和公園一帯を活用して建設することを早急に検討すべきと思うが見解を伺う。

答 人口減少社会を迎え、文化センターを含む公共施設全体の検討に着手することを第1回定例会の市政執行方針説明^(※)で申し上げたところです。並行して開催しています文化センターのあり方検討市民会議の答申結果も踏まえながら検討をしていきます。

問 犯罪の抑止や早期解決に向け、学校や市内の要所に防犯カメラを設置すべきと思うが見解を伺う。

答 国や道などの助成制度の活用も視野に入れながら、防犯カメラの設置や運用の方法について検討していきます。

※「市政執行方針説明」は8ページの「用語を理解して議会をもっと身近に！」を参照

令和3年第2回定例会議決結果

議案番号	件名	議決結果
報告第1号	専決処分の承認について（令和3年度滝川市一般会計補正予算（第2号）） コロナワクチンの配送や接種券の印刷・発送、システム改修などのコロナワクチン接種の準備を行うための予算を措置したものです。	承認
報告第2号	令和2年度滝川市一般会計予算繰越明許費の繰越しについて	報告済
報告第3号	令和2年度滝川市下水道事業会計予算の繰越しについて	報告済
報告第4号	一般財団法人滝川生涯学習振興会の経営状況について	報告済
議案第1号	令和3年度滝川市一般会計補正予算（第3号） 国の新型コロナウイルス感染症セーフティネット強化交付金を受けて行う低所得の子育て世帯生活支援特別給付金の支給、認定農業者等が農業用機械等を導入する際の費用の一部助成などに係る補正予算です。	原案可決
議案第2号	滝川市税条例等の一部を改正する条例 市販薬購入費用に対する医療費控除、住宅借入金等特別税額控除、軽自動車の種別割の特例措置に係る期限の延長などを行うための改正です。	原案可決
議案第3号	滝川市固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第4号	滝川市手数料条例の一部を改正する条例 新築等計画の認定申請や建築物エネルギー消費性能適合判定などに係る手数料の改定とマイナンバーカードの再交付に係る手数料を廃止するための改正です。	原案可決
議案第5号	滝川市国民健康保険条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第6号	滝川市立高等看護学院条例の一部を改正する条例 授業料を月額30,000円に引き上げるための改正です。	原案可決
議案第7号	副市長の選任について 新たに中島純一さんが選任されました。	原案同意
議案第8号	教育委員会教育長の任命について 新たに田中嘉樹さんが任命されました。	原案同意
議案第9号	固定資産評価員の選任について 新たに中島純一さんが選任されました。	原案同意
議案第10号	財産の取得について	原案可決
議案第11号	令和3年度滝川市一般会計補正予算（第4号） コロナワクチンの集団接種に係る接種委託料の増額、国の新型コロナウイルス感染症セーフティネット強化交付金を受けて行う新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金を支給するための補正予算です。	原案可決
議案第12号	滝川市議会会議規則の一部を改正する規則 議員が本会議や委員会を欠席する際の理由の明確化、請願書の提出の際に署名又は記名押印を選択できるようにするための改正です。	原案可決
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦について 新たに深澤京子さんが推薦されました。	可と答申
意見書案第1号	地方財政の充実・強化に関する要望意見書	原案可決
意見書案第2号	米の需給・価格安定対策と米政策の見直しに関する要望意見書	原案可決
意見書案第3号	学校教育におけるデジタルトランスフォーメーションを適切に進めるための要望意見書	原案可決

令和3年第2回臨時会議決結果

議案番号	件名	議決結果
報告第1号	専決処分の承認について（令和2年度滝川市一般会計補正予算（第16号）） ワクチン接種の体制を構築するための予算を措置したものです。	承認
報告第2号	専決処分の承認について（滝川市税条例の一部を改正する条例） 軽自動車税の環境性能割に係る税率区分の見直し、国民健康保険税の減免に係る納期限等を延長等するための改正です。	承認
報告第3号	専決処分の承認について（滝川市介護保険条例の一部を改正する条例） 介護保険料の減免に係る納期限等を延長するための改正です。	承認
報告第4号	専決処分について（訴えの提起） 滞納している学校給食費の支払について請求の訴えを提起するものです。	報告済
議案第1号	令和3年度滝川市一般会計補正予算（第1号） ワクチン接種事業に係る接種費用、低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金（ひとり親世帯分）の支給、住宅新築やリフォームに対する補助金、高齢者と障がい者のワクチン接種時の接種会場への移動費用を支援する費用、小中学校の冬期の換気に対応するためのストーブ更新などに係る補正予算です。	原案可決
議案第2号	令和3年度滝川市病院事業会計補正予算（第1号） A1問診システム、患者呼び出しシステムの導入等のための補正予算です。	原案可決

なるほど、そうなんだ

用語を理解して議会をもっと身近に!

■特別交付税 (P 5)

標準的な行政を実施するために必要な財源として国から交付される普通交付税に対し、特別の事情により、普通交付税の額が財政需要に比較してとても少ないと認められるときに、地方公共団体に対して交付される地方交付税の一種です。

■市政執行方針説明 (P 6)

新年度における市政運営の基本的な方針や各施策の基本的な考え方について予算大綱とともに本会議で市長が説明するもので、新年度予算を審議する3月定例会で行われます。

議員の表彰

次の議員が全国市議会議長会の表彰を受けました。

議員在職 30年以上 表彰

田村 勇

議員在職 10年以上 表彰

木下八重子 山本 正信 渡邊 龍之

※令和3年5月26日受彰

インターネット中継のお知らせ

滝川市議会では議会改革の一環として、より多くの市民の皆さんに本会議を見ていただけるよう、YouTube (ユーチューブ) により会議の様子をインターネット上で配信します。視聴される場合は、「滝川市議会YouTubeチャンネル」をクリックしてください。

なお、本会議開催中の場合は、滝川市議会YouTubeチャンネル内でライブ中継が配信されます。また、過去の配信映像も同チャンネル内でご覧いただけますのでご利用ください。



たきかわ市議会
ホームページQR



傍聴してみませんか

令和3年第3回滝川市議会定例会
開催予定日をお知らせします。

日	月	火	水	木	金	土
8/29	30	31	9/1	2	3 本会議	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14 本会議 一般質問	15 本会議 一般質問	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	10/1	2

※矢印は会期を示します。

開催日は変更する場合がありますので、傍聴の際は日程を確認してください。

問い合わせ 議会事務局 ☎28-8048

編集後記

コロナ禍は、便利な道具をあっという間に世に広めました。インターネットの活用で在宅のまま会議や学習会に参加することもできます。ZOOM飲み会と称して遠隔地に住む友人とリアルのように談笑することもできる時代に。

時代の移り変わりを感じさせるときに18歳を迎え選挙権を得る滝川西高校の生徒会の皆さんと懇談することができました。それぞれにしっかりした考えがあり貴重な機会をいただきました。ありがとうございます。

議会だよりは昔ながらのリアルな紙媒体です。しかし、市民・若年者の皆さんが手に取って読みたくなる、議会の取り組みがよくわかると注目していただける紙面づくりをさらに心掛けていきたいと思っています。

たきかわ市議会だより編集委員会

副委員長 寄谷 猛男

発行責任者 滝川市議会議長 関藤 龍也